

全日本ダートトライアル第2戦

好調北村和浩選手 (CMSC岐阜) 今季初優勝!!



CMSC岐阜
北村和浩

全日本ダートラ第2戦優勝記

'95全日本ダートラ第2戦「スズキカップ'95SSCCダートトライアル」がワンデー開催の4月23日栃木県黒磯市「丸和オートランド那須」で行われました。毎回激戦が繰り広げられるAIVクラスにランサーエボIIIで参戦している私ですが、今季第1戦では失格という納得のいかない結果に終わってしまいました。この第2戦には、今季は7戦しか



第1戦の屈辱をバネに勝利

ないつもりで気持ちを切り替えて臨みました。「丸和オートランド那須」のワンデー開催は'94シリーズ第5戦以来です。その大会では優勝しており、私にとっては得意のコースといえます。ただし天気の方は春の変わりやすい空模様で、曇りから時々激しい雨に見舞われました。それでも第1トライはドライで若干湿った程度のコンディ

ョンでしたが、第2トライはあちこちに水たまりができて、始めからタイムは諦める展開となりました。私は最終でスタート。同じCMSC岐阜の楢田選手のタイムを見て「これならイケル」と飛ばし、ベストタイムを叩いて今季初優勝を決めることができました。今回は第1戦の屈辱をバネに頑張りと、その甲斐がありました。今後も頑張ります。

CMSC埼玉
田口幸宏

CMSC埼玉に入会して

昨年、東京から埼玉に引っ越したのを機にCMSC埼玉に入会させていただきました。三菱車に乗りラリーに参戦するものにとって、CMSCに入会する事は一種の憧れのように感じていましたが、事務局の方々の御協力により入会することができました。

ところで私は全日本ラリーBクラスにミラージュで参戦しております。成績は一昨年3位、昨年2位と一歩づつステップアップして来ましたが、

念願のチャンプを目指して

残念ながらチャンピオンには手が届かずにいました。'95年度はどうしてもチャンピオンをとらなければいけない年と感じており、念願のチャンピオン獲得に向け新たな気持ちで、またいい意味でのプレッシャーを自分にかけてラリーに打ち込んでいきたいと思っております。お陰様で第1戦DCCSウインターラリー優勝、第3戦ACKスプリングラリー4位と、春先苦手な私にとってはまあまあのス



タートを切ることができました。自分の好きな夏に向かって調子を上げ、チャンピオン獲得に全力で向かっていきたいと思っています。新参者ですが今後ともよろしくお願いたします。

CMSC道北 村元秀実

全日本ラリー第4戦参戦記

5月27、28日群馬県で開催された全日本ラリー第4戦「モントレー'95」にエントリーしました。マイベックに乗り初めての道外ラリーに参加し、また今回はSS区間がなくハイアベレージ含むラリー区間のみの設定で、私にとって初めての事に戸惑いがありました。しかし同じCMSC道北の鎌田選手や栗沢選手、帯広の小林選手が出場されていたことや、ラリーアートの須賀さんより励ましをうけ気持ちが和みました。

初めてづくしのラリー参加

した。主催者のラリーに対する気持ちが感じられ、オフィシャルの方も皆、手を振って応援して下さいとてうれしく思いました。またギャラリーの多さにも驚きました。

結果の方は車にうまく乗りきれず9位に終わりました。上位の選手との力の差を感じ、旭川に帰ってからは日夜練習に励んでいます。次の全日本戦ノースアタックは地元ということもあり上位入賞を狙ってきます。童顔で若く見られますが本誌にも何度かお目見えしている老け顔の栗沢傑と同年齢の26歳です。ラリー会場で顔を合わせた時は気軽に声をかけてください。よろしくお祈りします。



CMSC群馬 5月7日

CMSCトライアル in 那須

今回のCMSCトライアルin那須は、今までのCMSC群馬のイベントからは想像もつかない、まれにみる快晴でした。「きっと午後からは雨だよ」と言っていたオフィシャルもいましたが、チーム員の日頃の行いがよかったのでしょうか？最後まで一滴の雨も降ることなく終わることができました。

毎回豪華なメンバーによるコースクリアが話題となるCMSCトライアルin那須ですが、今年はなんと全日本AIVの荒井選手、CIIIの登坂選手、Dの大井選手がそれぞれ本番車を持ち込むというすごいコースクリアとなりました。その走りはあまりにすごくて、驚異でさえありました。そのせいか競技の方は転倒車が3台も出てしまい、レスキュー隊は大忙しでした。今回のトライアルには、

会場沸かせたオートマ車参戦



AIIIクラスにFTOのオートマチック車で出場したエントラントもいて、会場を大いに沸かせました。しかも6位に入賞し特別賞も授与されました。モータースポーツはこういう車ではダメなど、敷居が高いと感じている方も多いと思いますが、まずは自分の好きな車、持っている車で楽しむことから始めるのだということ気づかせてくれました。

今回はゴールデンウィーク最後の日ということでエントリー台数101台と少なくやや寂しい感はありましたが、エントラントの方々は連休最後の日をとて楽しく過ごせたことと思います。来年も、もっともっと楽しいイベントを開催できるよう努力していきたいと



写真上、左より古内選手、荒井会長、大井選手の走り
写真下、左より三菱賞2位塩谷選手、1位水村選手、3位佐藤選手

思いますのでよろしくお願いいたします。エントラント、オフィシャルの皆さんお疲れさまでした。

(CMSC群馬 細村謙一)

CMSC栃木 5月21日

'95スリーダイヤモンドジムカーナ

我がCMSC栃木が主催して10年近くとなり、すっかり栃木県モータースポーツ界の年中行事となった「スリーダイヤモンドジムカーナ」が、今年も栃木シリーズ第2戦として日光スピードパークにおいて開催されました。県内の常連エントラントはもちろんのこと近県からの参加もあり、台数こそ78と少なかったのですがこれは同日にミドルクラスのイベントが開催された為と思われ、かえてシリーズ戦としてのポイント獲得争いに影響を与えるおもしろい一戦として位置付けることができました。

今回の特徴の一つとしてNクラスの参加者の増加があげられます。急遽クラス表彰のカップを購入し直すなどの嬉しい誤算もありました。このことは近年減少しつつあったモータースポーツ人口の回復傾向とも考えています。またこのクラスは各メーカー

モータースポーツ人口回復か？



車両の競技車両素材としてのポテンシャルの高さが試される場でもあり、見逃せないものでした。なかでもランサーエボIIIの走りは熱い視線を浴びていました。

今回のコース設定は高速からのフルブレーキング、そして8の字ターン、360度ターンと、走ってもまたギャラリーとしても十分楽しめるものでした。結果はランサーの圧勝となり、当クラブの特別賞である「三菱賞」もAIIIの1、2位、AIIの1位のエントラントの手に渡されました。この嬉しい結果に疲れもいやされるオフィシャル一同でありました。ご支援ありがとうございました。(CMSC栃木 郡司 義光)



写真下、左よりAIII1位石井選手、2位船野選手、3位中川選手

CMSC広島 岩根つもる

全日本ダート第1、2戦参戦記

ここ数年はランサーで参戦しており、昨年はランサーの改造車で全日本Dクラス6位と自分の目標を達成できた年でした。今年は自分の未経験FF車両AIIIクラスFTOでの参戦となりました。FTOについてはレーススペースもなく、戦闘力も未知数ではありましたが、敢えてNA200馬力というポテンシャルの高さに期待して選んだ車です。

第1戦は手探り状態だった足廻り等のセッティング

注目度No.1FTOで参戦

や、FTOにどれだけの戦闘能力があるのか等、不安の中エントリーし、トップと2秒差ではありましたがなんとか予選通過。決勝では20台中18位とふるいませんでしたが、新型ということもあり注目度はNo.1でした。第2戦には1戦の反省から足廻りのセッティングを変え再挑戦。当日は雨が降り重量の重いFTOには不利でしたが、結果は無残にも17台中14位とまたまたふるいませんでした。

現在残りの全日本戦に向け、セッティング等の総見



直し中です。結果はともかく注目度はNo.1! 後は結果がついてくるよう頑張りたいと思っています。

CMSC広島 5月21日

中国三菱杯CMSC広島ダートトライアル'95

F地区ダートトライアル地方選手権シリーズ第4戦を広島のテクニクステージタカタにて開催いたしました。当日は115台のエントリーがありました。雨という最悪のコンディションの中、車両の蹴り上げる泥が光電管につきタイム測定不能で再出走する車両が続出したため、大幅にタイムスケジュールが狂い、天候の事とは言えエントリーの皆様には迷惑をかける事になってしまいました。しかし、オフィシャルが泥だらけになりながら頑張った甲斐あって、スタック車両は数台あったものの転倒車両2台で怪我人もなく無



▲左より、三菱賞1位田口選手、2位奈良井選手、3位河内選手、

事イベントを終了することができました。レース結果はAIVクラス1位田口盛一郎選手、2位奈良井選手、3位河内選手といずれも三菱ランサーの常連が占める結果となりました。

雨天の中のイベントで多々反省点もありましたが、



当クラブ初の地方戦開催としては上出来であったと思います。今回のイベントをステップにして、今後ともより良いイベントが開催出来るよう、クラブ員一同頑張っていこうと思っております。

(CMSC広島 平原 和幸)

CMSC岩手 5月28日

岩手県シリーズダートトライアル第2戦

五月晴れの絶好の田植日和のため参加台数が少なく感じられました。しかしその分十分走れるコース設定として、エントリーには好評でした。また協賛各社のおかげで台数のわりには賞品も十分で、こちらの方も好評でした。

さて、競技の方は参加台数の半分以上を占めたAIIIクラスが一番盛り上がり、特にAIIIクラス最初に出走した女性ドライバー(千代川香選手)のタイムを男性ドライバー達がなかなか上回ることができず、

女性ドライバー大健闘!



結局千代川選手1回目ではなんと5位、そして最終的にも7位と、男性陣のだらしなないこと?今後のシリーズ戦は千代川選手を巡って面白い展開となるでしょう。

それにしてもこの会場は素晴らしいロケーションで

した。雄大な岩手山、そしてパラグライダーと文句のつけようがなかったのですが、参加台数が……。とにかく無事終了できてよかったです。

(CMSC岩手 工藤 守)

CMSC福島 5月21日

CMSCダイヤスタージムカーナ

5月21日曇り。記念すべきCMSC福島による初めてのB地区戦主催でした。当日の朝まで雨が降り、このままずっと雨だったらなどと考えると前夜はらく

初めての地区戦無事終了

に寝れませんでした。しかし今にも雨が降り出しそうでしたが何とか一日もって来て、転倒車などもなく全員無事に走りきりました。再車検や表彰式も何事もなく、私たちオフィシャル一同ほっとしました。もう二度とB地区戦はやらないぞ?と心に誓った一日でした。(CMSC福島 須田 行雄)



左より、三菱賞2位小館選手、1位飯塚選手、3位大沢選手、

海外挑戦 1

CMSC群馬 岩田恒廣

私はアメリカ合衆国のコロラドスプリングスにて7月4日に開催される「'95パイクスピーク73回大会」へ参加します。このレースは75年間も続いている、歴史と伝統のある世界で一番古いヒルクライムレースです。コースは観光客等が利用する一般道路(未舗装)を使い、標高2900mのスタート地点から万年雪の残る4300mの頂上まで一気に走破しタイムを競います。空気は薄くガードレール無し、一歩間違えると谷底に転落という大変危険なコースです。クラスは、何でもOKのアンリミテッド、量産車で改造OKのパイクスピーク・オープン。私が参加するのはまだ日本人が参加したことのないハイ・パフォーマンス・ショウルーム・ストッククラスです。日本のダートラのAクラスの様なもので、改造できるのはサスペンション、安全面のロールケージのみ。コースは気圧が低く一番心

'95パイクスピークオートヒルクライム挑戦

配なのはオーバーヒートですが、エボIIIのパワーで一気に頂上を目指します。

群馬三菱に勤務して22年。岡崎の整備学校から始まり、営業に移り、5000ポイントで夫婦でハワイに行き、10000ポイントでアメリカ西海岸へ(自工ポイント)。グランドキャニオン観光の時、こんな広大なダートコースでスピード違反を気にせず、自分で販売しているハイパワー車で全開で走れたらと思ったものです。

アメリカのコロラドスプリングスでダート全開で駆け上がるヒルクライムレースがあると荒井会長から聞き、ここ数年「行きたい、行きたい!」と歳になってしま(41歳)と思い続けていました。こんな自分の夢を叶えてくれた群馬三菱の大崎社長、ラリーアートの須賀様、CMSC群馬の方々、そして英語のルール



ブック、アメリカからの手紙を訳してくれた本間先生、ライセンス取得等色々な方の協力により行けることになりました。ありがとうございます。7月4日アメリカ合衆国独立記念日の決勝走を目指して頑張ります。

海外挑戦 2

CMSC山形 赤羽政幸

モータースポーツを始めて17年。漠然とはありますが海外ラリーに行きたいという気持ちがありました。雑誌やビデオからの情報、実際に参加してきた方の話を聞いた時に、いつかは自分も海外ラリーに行くんだと、夢だけは持ち続

ラリー・オブ・マレーシア'95挑戦

けていました。今回は昨年全日本ダートラで使用したランサーエボIIで参加します。初めてのことで戸惑うことも多々ありますが、スポンサーさんやショップの仲間の協力で一歩足を踏み

出した所です。とにかくラリーの3日間を完走することを第一に、自分の力も試してみたいと思っています。



CMSC鹿児島誕生 20番目の支部に

全国のCMSC支部の皆様はじめまして。このたび20番目の支部となりましたCMSC鹿児島です。九州の最南端、鹿児島を拠点に活動していきます。クラブ員数はまだ15名不足ですが、今後加盟クラブ昇格を目指し頑張っていきたいと思ひます。

活動内容としては主にラリー、ダートトライアルです。クラブ員には初心者が多くレベル的には今一歩ですが、全日本ラリーで活躍中の山口修を中心に、

総体的なレベルアップを図っていきたく思ひます。まずは地方戦でのメダル獲得、さらには全日本戦へのステップアップと目標をしっかりと立て参加していきたく思ひます。まだ出来たてホヤホヤの小さいクラブですが、各支部の皆様ご指導の程よろしくお願ひいたします。

(CMSC鹿児島 肥後 節子)



左より、原園会長、肥後事務局長、山口副会長

今年是新鋭道北が好スタート。激動の予感!?

'95チャレンジカップ

昨年の帯広の活躍に引続き、今年も北海道勢の道北が見事なスタートダッシュ。大阪も2位のスタート

で、クラブ別・個人部門にも両クラブの勢いが出ています。さあ、ゴール目指して頑張ってください。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	合計
道北	959	
大阪	809	
群馬	489	
帯広	398	
山形	383	
島根	331	
岐阜	317	
青森	297	
浜松	279	
広島	264	
香川	247	
札幌	241	
千葉	227	
岩手	152	
埼玉	87	
愛知	81	
仙台	55	
福島	34	
栃木	2	
鹿児島	-	

●ラリードライバー部門

丹羽 浩道	千葉	68
杉山 聡	道北	64
田口 幸宏	埼玉	61
奴田原文雄	札幌	59
栗澤 傑	道北	54
小林 康弘	帯広	51
鎌田 豊	道北	50
勅使川原光	千葉	50
大井 こずゑ	群馬	40
松井 孝夫	愛知	36

●ラリー・ナビゲーター部門

伊吹 浩明	帯広	81.5
川村 知恵	道北	65
長谷川好洋	道北	30
金子 誠司	群馬	28
山口 利久	群馬	20
横山 浩	札幌	20
加藤 徹	岩手	20
細村 祐子	群馬	10
対馬 隆志	青森	10
吉田 俊彦	岩手	10

●ダートトライアル部門

秋間 忠之	大阪	373
小出久美子	大阪	316
宝田 芳浩	札幌	142
三浦 正博	道北	134
榑田 正文	岐阜	130
鎌田 卓麻	道北	124
荒井 信介	群馬	122
大井 こずゑ	群馬	111
大竹 公二	大阪	108

●ジムカーナ部門

田口 玲	道北	174
丹羽 裕一	道北	80
小館 久	青森	80
山下 亘	道北	62
工藤 裕之	青森	60
小寺 久美	道北	52
面野 一	帯広	44
宇野 慶一	青森	40
杉坂 啓一	島根	25

●レース部門

高橋 滋	仙台	36
小川日出生	山形	30
玉本 秀幸	浜松	26
山川 敏宏	山形	24
四戸 岳也	岩手	12
細谷 智和	山形	12

●ポイントのつけ方

ポイント	リタイアには予選不通過も含む											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス) 但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル
 ジムカーナにはJAF CUP ジムカーナ
 レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップを含む
 B = それ以外の競技会

'95 CMSC 全国大会
 本年は左記の通り開催いたしますので、奮ってご参加下さい。
 日程 8月26日(土)
 場所 福島県二本松市東北サファリアパーク・エビスサーキット
 内容 各支部対抗クロックロード・ジムカーナ・競技会、懇親会